

-地域おこし協力隊 活動報告-

秘書広報課 廣岡 祐次

2023.3.29

◆2003年 株式会社ナムコ 新卒入社

新入社員時から4年間、熊本県熊本市に居住。2年間は店長としてアミューズメント施設の運営をする傍ら、地方の状況・実態についても理解を深める。

◆2008年 バンダイビジュアル株式会社

(現 株式会社バンダイナムコアーツ) 入社

ナムコ入社3年目に、バンダイとナムコが経営統合を果たした事をきっかけとし、入社5年目に人材交流の一環としてバンダイビジュアルに入社。主に作品の広報・宣伝を担当。

◆2012年～ アニメ「ガールズ&パンツァー」の宣伝プロデューサーを担当

2012年からTV放送を開始した『ガールズ&パンツァー』の宣伝プロデューサーとして、立ち上げ時から関わる。サラリーマンとして普段接する事がないような“現地でがんばる多くの人”に接する事で、人生を見つめ直すきっかけとなる。そして、多くのガルパンファン同様、ガルパンをきっかけとして、作品の舞台・大洗町が好きになりすぎる。

◆2015年 イベント「AnimeJapan」総合プロデューサーを担当

東京ビッグサイトで毎年開催される、国内最大級のアニメイベント「AnimeJapan」の総合プロデューサーを務める。この年の総来場者数は、2日間で約12万人。

◆2019年 株式会社ハイド&ルーク 設立

大洗町が好きになりすぎた結果、大洗町に会社を設立。コワーキングスペースを拠点としながら、町の特産品などを扱うネット通販サイト「ARISE GIFT」を運営している。

◆2021年 地域おこし協力隊に入隊

前職で培った知見を活かし、業務委託型の地域おこし協力隊として、秘書広報課に配属。町の「広報・宣伝」業務の仕組み作りに取り組む。



廣岡祐次

株式会社ハイド&ルーク 代表取締役

1980年11月21日生まれ

私の役割について

☑役場の情報発信に関する交通整理

今年度
ニュースリリース発信

17件

☑誰が来ても広報PRができるような仕組み作り

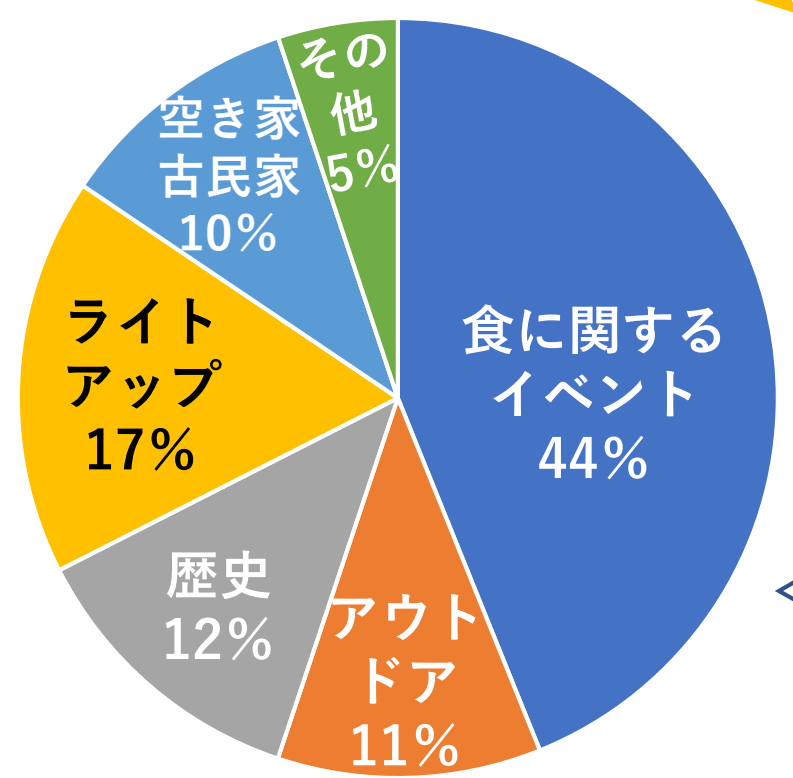
☑町の広報戦略の策定

今期の活動について ① イベント 参加者アンケートの収集・報告

今期、町内で行われた7回のイベントにて、現場のQRコード掲出とweb回答（後半のみ）を並行し、参加者アンケートを実施。設問の9割を同じ内容にする事で、イベント同士の比較、前年比の比較（来期以降）などが可能に。

1年間の総収集数 **1,103件**

例えば、こんな数字が取れました



「**比較用のスコア**」を数値化し、**KPI指標の作成が可能に**
イベントの満足度、「人に薦めたいか」「また参加したいか」の指標を、5段階・10点満点評価でスコア化。これによりイベント間の比較が容易となり、課題抽出や目標数値の設定が可能に。

満足度スコア		推奨意向スコア		再来訪意向スコア	
海楽フェスタ2022	9.00	海楽フェスタ2022	8.48	海楽フェスタ	9.31
曲がり松夜市	9.81	曲がり松夜市	8.93	曲がり松夜市	9.53
うみまち照らす磯浜神社	8.92	うみまち照らす磯前神社	8.31	うみまち照らす磯前神社	8.65
砂浜図書館2022	9.44	砂浜図書館2022	8.82	砂浜図書館2022	9.18
商工感謝祭&あんこう祭	9.31	商工感謝祭&あんこう祭	9.04	商工感謝祭&あんこう祭	9.53
うみまち照らす磯浜古墳群	8.72	うみまち照らす磯浜古墳群	8.31	うみまち照らす磯浜古墳群	8.46
海楽フェスタ2023	9.28	海楽フェスタ2023	8.92	海楽フェスタ2023	9.57

「**大洗で行われるイベントで、参加したいと思うテーマをお答えください。**」という設問に対し、7回合計の数字。「圧倒的に食のイベントが求められている」「意外と歴史への興味が高い」などが読み取れる。この「数字」は、今後イベントを実施する際のニュースとして使用する事が出来る。

今期の活動について ②広報PR 一連の流れの共有



1月21日・22日開催「うみまち照らすin磯浜古墳群」において、事前に県庁記者クラブで「記者会見」を実施。実施した一連の流れを共有する事で、記者会見実施のハードルを下げる事を目的とした。記者会見は広報PRの中でも力を入れるべき要素である。

■「うみまち照らす-古代と未来を結ぶ、夜の光芒-in 磯浜古墳群」 広報PR掲載情報

	媒体名	会社名	日付	記事	内容	備考
1	読売新聞	読売新聞 水戸支社	1月19日	https://www.yomiuri.co.jp/local/saraki/news/20230119-OYTNT50089/	記者会員の記事	
2	読売タウンニュース	読売新聞 水戸支社	1月19日	https://yomiuri-townnews.com/jm/jm-ent_town_news.html#/2023/01/22/	記者会員の記事	
3	ARISE GIFT	ハイド&ルーク	1月19日	https://www.arise-gift.jp/article/2849/	記者会員の記事	
4	茨城新聞	茨城新聞	1月20日	https://kitakan-naivi.jp/archives/168533	記者会員の記事	※会期終了後、web記事削除
5	朝日新聞	朝日新聞 水戸支局	1月21日	https://www.asahi.com/articles/ASR1M7GZNR1KJH800.html	記者会員の記事	
6	茨城新聞	茨城新聞	1月22日	https://www.yahoo.co.jp/articles/258892281d7d3448d1c6b392951a6a878	当日取材の記事	Yahooニュースに転載
7	読売新聞	読売新聞 水戸支社	1月22日	https://www.yomiuri.co.jp/local/saraki/news/20230123-OYTNT50021/	当日取材の記事	



1月19日 読売新聞

1月19日 よみうりタウンニュース

1月20日 茨城新聞



1月21日 朝日新聞


1月21日 読売新聞

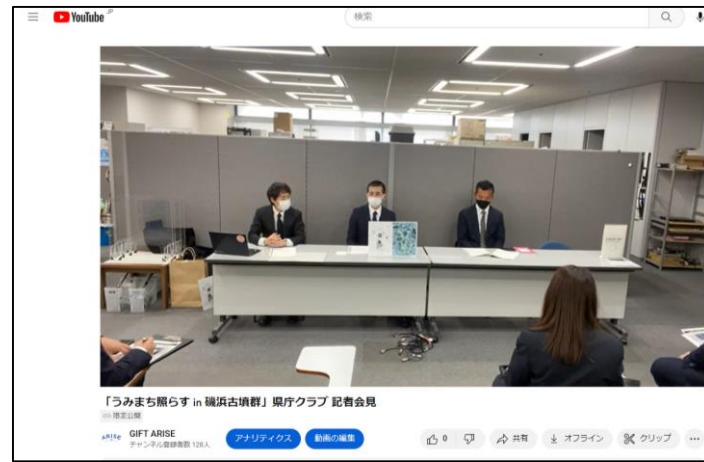
1月21日 茨城新聞

参加した3紙
すべてで掲載!

今期の活動について ②広報PR 一連の流れの共有

進行台本テンプレート【ここに、イベントや記者会見のタイトルを入れる】
 実施日：202●年●月●日

TIME	LAP	SCENE	内容	BGM	CONTENTS
	107800	開演前			<p>【10分前には会場到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・媒体用のニュースリリースを参加媒体に渡す。 ・机の端に、残ったニュースリリースを置く。 ・登壇者の座り位置を決めておき、着席のまま開始
開始時間を入れる	029000	司会あいさつ			<p>【司会】</p> <p>本日は「〔イベント・サービス・商品名〕」に関する記者会見にご参加頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます。(所属先)の(名前)と申します。宜しくお願い致します。</p> <p>まずは本日の登壇者を紹介致します。</p> <p>(所属先)の(名前)さんです。</p> <p>【登壇者】</p> <p>「自己紹介のご挨拶」</p> <p>【司会】</p> <p>続きまして、(所属先)の(名前)さんです。</p> <p>【登壇者】</p> <p>「自己紹介のご挨拶」</p> <p>※登壇者が1人の場合は2人目以降不要。3人目以降が居る場合は上記の繰り返し。</p> <p>【司会】</p> <p>ありがとうございます。本日はこの●人で進めて参ります。</p> <p>最後に、質疑応答のお時間も取っておりますので、宜しくお願い致します。</p>



県庁記者クラブ「うみまち照らすin磯浜古墳群」記者会見の流れ

1月10日(火) 記者クラブに申し込みの電話を行う。口強で趣旨を説明し、1月17日(火)・18日(水)・20日(金)の13時～15時で空いているか確認。いずれも空いていたので、17日(火)13時開始で申し込みを行う。一旦電話を切り、その時の幹事会社(今回は茨城新聞)の確認が取れ次第、折り返しの電話が来る。今回の場合20分後にはOKの連絡を頂く。
 ※本来は申込一記者会見本番までの時間にもっと余裕を持ちましょう。2週間前には申し込みたい。

1月11日～1月16日

- ★登壇者の調整(今回は大里明さん、大山社郎さんで調整)
- ★進行台本の作成(最低限、発表内容の「背景」「内容」「質疑応答」「フォトセッション」があればよし)
- ★当日用パネルの作成
- ★当日配布用のニュースリリースを作成・印刷(33部)

1月17日(火) 12時45分に、県庁2階ロビーに集合。揃い次第4階の奥にある「記者クラブ」に訪問。印刷したリリースやパネルを忘れずに。受付で「13時から記者会見を行います。〇〇(団体名)の●●(名前)です。」と伝えれば通されます。

本番中も、登壇者は台本見ながらOK。心配ならば、しゃべる内容を書いた紙を用意する、でもOK。印刷した当日用のニュースリリースは、参加者には事前に渡し、残りは机の上に置いておく。「ニュースリリースはこちら」的な看板は、向かって左の机の上に置いてありました。

会見の様子の動画(フル)：
<https://www.youtube.com/watch?v=AP20U1CyLdc>
 時間になったらこちらのタイミングで開始。話始めてOK。

【記者会見実施のハードルを下げるために…】

大半の人は「やったことが無いからわからない」という意識が最初に来ると思うため、下記資料の作成・共有を行った。

- ★記者会見を行った際に実際に準備した資料
- ★「実施の流れ」をまとめた資料
- ★当日の様子を撮影し、Youtubeに公開した動画(限定公開)
- ★進行台本のテンプレート

ニュースリリースの発信+記者会見実施で、記事化の確率を少しでも上げる取り組みを！

来季の活動について

町の「広報戦略」の策定

ご清聴ありがとうございました